

令和7年度

学生募集要項(二次募集)



独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Fukui College

〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL(0778)62-8290 (学生課直通)
FAX(0778)62-2490 (学生課直通)
E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

インターネット出願ではありません。

学生募集要項の内容に変更がある場合は、
本校ホームページにてお知らせしますので、
最新の情報を確認するよう留意してください。

【本校ホームページ】 <https://www.fukui-nct.ac.jp>

目 次

I	募集人員，アドミッション・ポリシー及び出願資格	
1	募集人員	1
2	アドミッション・ポリシー	1
3	出願資格	1
II	二次募集による入学者の選抜	
1	出願手続	2
2	選抜方法	3
3	選抜当日の注意	3
4	合格者の発表	3
5	入学確約書の提出	3
III	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	3
IV	入学手続説明会及び入学手続	4
V	入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて	4
VI	その他	4
VII	二次募集受験地案内図	5
VIII	入学案内	
1	本校の概要	5
2	本校の使命	5
3	学科案内	6
4	クラス編成	6
5	各種施設・学生会活動	6
6	入学時に要する経費	7
7	入学料・授業料の免除及び入学料徴収猶予	7
8	奨学制度	8
9	学生保険制度	8
10	学寮	8
11	卒業後の進路	8

出願書類用紙

入学願書(二次募集)，調査書，受験票・写真票

I 募集人員、アドミッション・ポリシー及び出願資格

1 募集人員

学 科	募集人員
機 械 工 学 科	相当数
電 気 電 子 工 学 科	

※1年の成績等による制限はありますが2年進級時に転学科することが可能です。

2 アドミッション・ポリシー

求める学生像（本科共通）

福井高専では、優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者の育成に努めています。そのため、次のような人の入学を期待しています。

本校の教育を受けるために必要な素養と基礎学力が備わっている人で

1. 本校が目指すものづくり及び環境づくりに関する学習に興味がある人
2. 新しい目標に向かってチャレンジし、社会に貢献したい人
3. 技術者としてグローバルな視野を持ち、国際社会で活躍したい人
4. 仲間と積極的にコミュニケーションをとり、共同して課題に取り組もうとする人
5. 周囲の人たちを尊重し、社会規範を守る人

各学科の求める学生像

機械工学科

機械工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 自動車、飛行機、ロボットなどの機械システムや、環境、福祉、宇宙工学などの分野に興味がある人
- (2) サイエンスを学び、ものづくりに創造性を発揮して、人間社会に貢献したい人
- (3) 機械を創る材料、動かすエネルギー、制御する情報など幅広い技術を身に付けたい人

電気電子工学科

電気電子工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 電気自動車や太陽光発電などに使われる環境にやさしいクリーンエネルギーや新素材技術を学びたい人
- (2) ロボット、システム、コンピュータなどを動かすための電子制御やプログラミング技術を学びたい人
- (3) 情報家電や光通信などに使用する電子回路や情報通信技術を学びたい人

電子情報工学科

電子情報工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) コンピュータの構造や仕組みに興味があり、高度なプログラミング技術を習得したい人
- (2) ネットワークを活用したり、AIロボットを動かすプログラムを作りたい人
- (3) 最先端のICTシステム・サービスの開発をやってみたい人

物質工学科

物質工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 化学と生物の力により人々の健やかな生活に貢献したい人
- (2) 化学的手法を用いて有用物質や新しい材料を生み出すことに興味がある人
- (3) 微生物や遺伝子組換え技術等の生物機能を活用した物質生産や環境浄化に興味がある人

環境都市工学科

環境都市工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 自然と共生したくらしを営む環境づくりに興味がある人
- (2) 快適なくらしを共有するための建物とまちづくりに興味がある人
- (3) 災害から人々のくらしを守るシステムづくりに興味がある人

3 出願資格

出願資格は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校もしくは、これに準ずる学校を卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年3月に修了見込みの者

Ⅱ 二次募集による入学者の選抜

1 出願手続

(1) 出願受付

受付期間	令和7年3月3日(月)から令和7年3月4日(火)まで
受付時間	各日午前9時から午後4時まで (郵送の場合は、3月4日(火)午後4時までに必着のこと)
受付場所	独立行政法人国立高等専門学校機構福井工業高等専門学校 学生課 入学試験係 〒916-8507 福井県鯖江市下司町

(2) 出願書類

以下の書類ア～ウを本校ホームページよりダウンロードし、パソコン等により作成・印刷のうえ、期日までに提出してください。(https://www.fukui-nct.ac.jp/examination/middle-school)

出願に必要な書類は、次のとおりです。

出願書類	摘 要
ア 入学願書	所定の用紙により、必要事項を入力して作成してください。
イ 調査書	所定の用紙により、学校長が作成したものとしします。
ウ 写真票・ 受験票	所定の用紙により、必要事項を本人が記入し、写真票の所定欄に写真を貼ってください。 写真は、令和6年11月以降に撮影したもので、上半身脱帽、正面向き、縦6cm、横4.5cmのものを貼ってください。
エ 検定料	16,500円 志願者は、本校が指定する振込先口座に必ず入学志願者本人名で振り込んでください。 なお、振込時に別途必要な振込手数料は入学志願者本人の負担となります。 ※ATM(現金自動預払機)、金融機関窓口のいずれの振込も受け付けます。 振込が証明できるもの(ATMでの「ご利用明細書」、振込日付のある(振込証明書)をA4サイズの白紙の用紙に貼付し提出してください。 (振込先口座) Ⅰ 銀行名 福井銀行(0147) Ⅱ 支店名 鯖江支店(200) Ⅲ 預金種別 普通 Ⅳ 口座番号 1164926 Ⅴ 口座名義 トクコクリツコウトウセンモンガツコウキョウホフ

(3) 出願方法

ア 学校長は、卒業(修了)見込みの者及び学校を卒業(修了)した者の出願書類を取りまとめて、提出してください。

イ 既卒者の方で、出身学校経由での出願が難しい場合は別途ご相談ください。

ウ **郵送する場合は**、封筒の表に「**入学願書在中**」と朱書きし、必ず「**書留速達郵便**」にしてください。

受付期間内に提出が困難な場合には、事前に在籍(出身)中学校から電話にて本校学生課入学試験係へ「在籍(出身)中学校名・学生氏名」を連絡の上、FAX(0778-62-2490)またはメール(nyushi@fukui-nct.ac.jp)で出願書類一式を送信後、速やかに本校学生課入学試験係へ郵送(書留速達郵便)してください。

(4) 受験票・受験者心得等の交付

郵送での送付はいたしません。出願書類を受領後、受験票をメールでお送りいたしますので、メールの受信確認を怠らないようお願いいたします。受験票は、選抜当日に持参してください。

2 選抜方法

(1) 面接および調査書を総合して判定します。

(2) 選抜の期日及び場所

期 日	令和7年3月9日（日）
場 所	福井工業高等専門学校 福井県鯖江市下司町（「Ⅶ二次募集受験地案内図」参照）

(3) 面接

ア 実施時間

面接	13:00 ～
----	---------

イ 面接は個人面接（15分程度）により実施します。

3 選抜当日の注意

(1) 12時20分までに一年教室棟玄関にお越しください。

(2) 志願者は、受験票、筆記用具を持参してください。面接控室には時計がありません。計算機能及び通信機能のついていない時計を机に置くことができますので、必要な方は各自で準備してください。

時計のアラームは鳴らないよう事前に設定しておいてください。

なお、受験票を忘れた場合は、必ず受付に届け出て指示を受けてください。

(3) 上履きは、必要ありません。

4 合格者の発表

(1) 合格通知書は、学校長を経由して合格者に送付します（3月12日(水)午後に発送）。

なお、必要な場合は、学生課において合格通知書を発表当日の13時から14時までの間に、志願者の学校の教員に交付します(印鑑を必ず持参ください)。

本校ホームページ上に、同日13時以降に受験番号及び合格学科を発表します。

電話等による選抜結果の照会はできません。

5 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、下記の期日までに「**入学確約書**（様式は本校ホームページからダウンロードしてください）」を、本校学生課入学試験係へ提出してください（FAX・メール可）。

・令和7年3月14日（金）16時【必着】

なお、FAX・メールで送信する場合には、速やかに「**原本**」を郵送でも提出願います。

郵送する場合は、必ず「**書留速達郵便**」にしてください。入学確約書を期日までに

提出しない者は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

Ⅲ 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

福井工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入学試験係までご相談ください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜

の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）」によって示されているものの内、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課入学試験係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 本校学生課入学試験係
TEL (0778)62-8290
FAX (0778)62-2490
E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

IV 入学手続説明会及び入学手続

合格者には、令和7年3月17日(月)に、入学手続の説明会を行います。

また、入学手続は令和7年3月24日(月)に行います。

なお、この説明会や入学手続に出席しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

V 入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて

志願者から提出された志願者情報や調査書等に記載されて

いる情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜や本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究のために利用するとともに、合格者に対しては、次の目的のためにも利用します。

- (1)入学後の教育・指導
- (2)入学料、授業料の免除申請の審査
- (3)奨学金申請の審査
- (4)本校教育後援会及び同窓会の事務

VI その他

- 1 受理した出願書類及び検定料は、返還しません。

ただし、次の場合は検定料の返還請求ができます。

- (1)検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は受理されなかった)場合
- (2)検定料を誤って二重に払い込んだ場合

＜返還請求の方法＞

- ①返還請求の理由、②氏名(ふりがな)、③現住所、④連絡先電話番号、⑤振込口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(志願者本人)を明記した「検定料返還請求書」(様式自由)を作成し、「明細票」又は「収納証明書」等の検定料を払い込んだことが分かる書類を添付して

下記送付先へ速やかに郵送すること(封筒には「返還請求書在中」と記入すること)。

返還請求期限 令和7年3月13日(木) 午後5時必着

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

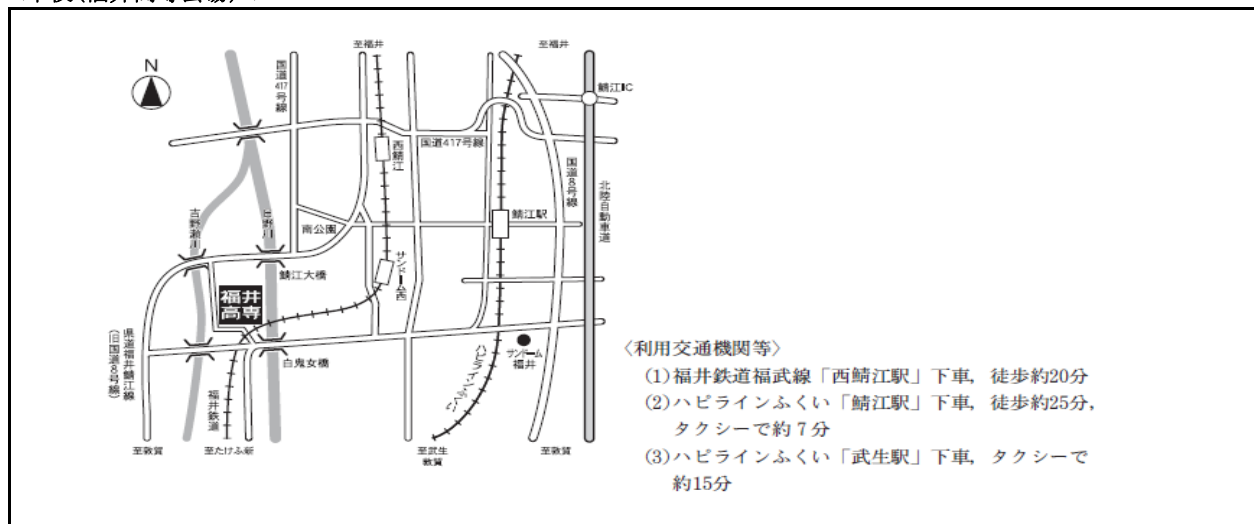
送付先 〒916-8507 福井県鯖江市下司町

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 総務課 財務係

- 2 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特例措置として検定料免除を行います。
- ・免除申請を希望する場合は、出願書類とともに「検定料免除申請書」に「り災証明書」を添付し提出してください。また、検定料の払い込みは行わないでください。検定料の払い込みをした場合は、還付の申し出が必要となります。
 - ・「検定料免除申請書」は、学生課入学試験係にあります。
- 本校ホームページ (<https://www.fukui-nct.ac.jp/examination/middle-school>) から様式をダウンロードして申請いただいても結構です。
- 3 提出した書類の記載事項の変更は、認めません。
- 4 提出した書類に事実と相違した記載があると判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

Ⅶ 二次募集受験地案内図

＜本校(福井高専会場)＞



Ⅷ 入学案内

1 本校の概要

本校は中学校卒業生を受入れ、早期から、5年一貫の技術教育を行い、多様化、グローバル化した社会に貢献できる実践的技術者を育成する国立の高等教育機関です。本校では技術教育を行って技術立国を担い日本の未来を拓く有能なエンジニアを養成します。

本校卒業時には「準学士」と称することができます。さらに高度な科学技術の教育と密度の濃い研究指導を希望する学生のために、専攻科が設置されており、(独)大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請し、審査に合格することで、「学士(工学)」を取得することができます。

本校では「環境生産システム工学」教育プログラムが編成されており、このプログラムを本科4、5年と本校専攻科で履修することにより、社会の要求水準を満たした教育を受けることができます。

2 本校の使命

(1) 基本理念

優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する。

(2) 養成すべき人材像

- 一、地球環境に配慮できる社会的責任感と倫理観を持った技術者(人間性)
- 一、科学技術の進歩を的確に見通す工学的素養を持った技術者(専門性)
- 一、調和と協調を意識して、国際的に活躍できる技術者(国際性)
- 一、幅広い知識を応用・統合し、豊かな発想力と実践力で問題解決できる技術者(創造性)

(3) 教育方針

- 一、技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる。
- 一、個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する。
- 一、教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する。
- 一、健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する。
- 一、規律ある日常生活に徹し、明朗かつ達観した資性の涵養を図る。

3 学科案内

本校は、次の5学科と一般科目教室で構成されています。

機械工学科

航空機や自動車、ロボットなどの仕組みを学び、情報通信や制御と融合した、便利で、豊かな暮らしを創造する技術者を育成します。

電気電子工学科

情報・通信から光・電子デバイス、材料、エネルギーまで幅広い知識を学び、「地球にやさしく、人にやさしい21世紀」をつくる技術者を育成します。

電子情報工学科

今や、社会になくてはならない「情報」。これを活用するために必要なソフトウェア・ハードウェア・ネットワークをサポートできるエンジニアを育成します。

物質工学科

産業の基になる素材「物質」を化学の視点で学び、接着剤やポリマー、半導体、バイオテクノロジーなど化学を人のために活かせる技術者を育成します。

環境都市工学科

土木構造物や建築物のデザインや環境計測の方法などを学び、自然と調和した、安全で住みやすいまちづくりができる技術者を育成します。

一般科目教室

高等学校(普通科)での教育課程に、さらに大学の教養課程と同レベルの教育内容をプラスしたカリキュラムが組まれています。国語・数学・英語・理科・社会の5教科、保健体育はもちろんのこと、外国語は英語だけではなくドイツ語や中国語まで、情操教育として音楽や美術、さらに哲学や工学倫理など、その分野は多岐にわたっています。

4 クラス編成

1学年は、入学学科や男女比を均等にしたクラス編成を行います。2学年からは、所属学科の学生のみクラスになります。

5 各種施設・学生会活動

(1) 各種施設

学生の利用できる施設としては、野球場、陸上競技場、体育館、武道館、テニスコート、プールなどの体育関係施設及び図書館、福利厚生施設、合宿所（心和館）、学生食堂などがあります。

(2) 学生会活動

本校には学生全員をもって構成する学生会があり、学生生活における集団活動としての積極的参加、自発的な活動による自主性、人間関係の助長を目的として活動しています。現在活動している主な部活動は次のとおりです。その他、同好会も複数あります。

・体育関係

男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、バレーボール部、水泳部、ハンドボール部、ソフトボール部、ラグビー部、サッカー部、剣道部、テニス部、硬式野球部（高学年、低学年）、卓球部、陸上部、バドミントン部、ソフトテニス部、少林寺拳法部、合気道部、軟式野球部

・文化関係

吹奏楽部、囲碁・将棋部、モダンミュージック部、英語部、ロボット部、アマチュア無線研究会、放送・メディア研究会、建築構造デザイン部

6 入学時に要する経費

費 目		金 額	備 考
入学料		84,600円（予定額）	
授業料		234,600円（予定額）	（年額） ※保護者の所得に応じ、就学支援金の助成があります（就学支援金の額は年額118,800円～234,600円）。
その他の 必要経費	教科書代・学用品代等	80,000円	概算（学科により異なります）
	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金	1,550円	年額
	学生会会費	7,000円	年額
	教育後援会費	34,000円	入会金10,000円， 年間会費24,000円

（注）規則が改正された場合は、金額が変更になることがあります。

在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

その他、制服代等が必要となります。

7 入学料・授業料の免除及び入学料徴収猶予

(1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学者の学資を主として負担している者（以下、「学資負担者」）が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

(2) 授業料免除

・高等学校等就学支援金制度

第1学年から第3学年の学生を対象に、国が「高等学校等就学支援金」を学校に支給し、家庭の教育費負担を軽減する制度です。支給金額は、保護者等の所得に応じて決定されます。また、令和6年度より、福井県独自の就学支援金制度が始まっています。

・高等教育の修学支援新制度

第4，5学年および専攻科生を対象に、「授業料減免」と「給付型奨学金」をあわせて受給できる制度です。給付型奨学金（家計基準，学力基準により日本学生支援機構が選考）の認定区分に応じて、給付金額および授業料減免額が決定されます。

また、令和6年度より、福井県独自の多子世帯の授業料減免制度が始まっています。

(3) 入学料徴収猶予

経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合、入学前1年以内において、入学者又は学資負担者が風水害等による災害を受け、納付が困難であると認められる場合には入学料の徴収を猶予することがあります。

8 奨学制度

独) 日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき選考の上、独) 日本学生支援機構から奨学金が給付または貸与されます。

なお、2020年度からスタートした高等教育の修学支援新制度により、給付奨学生に採用された学生は、学校の授業料減免も受けられます。

このほかに、地方公共団体や各奨学育英団体等の奨学金制度もあります。

〈参考〉

①貸与奨学金月額（令和6年度）

奨学金の種類	区 分	通学方法	貸与月額				最高月額
第 一 種 (無利子)	1～3年生	自宅	10,000円	21,000円			
		自宅外	10,000円	22,500円			
	4・5年生	自宅	20,000円	30,000円			45,000円
		自宅外	20,000円	30,000円	40,000円		51,000円
第 二 種 (有利子)	1～3年生						
	4・5年生	20,000円～120,000円（10,000円刻み）					

※申込時における前年1年間の家計収入が一定額以上の方は、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

②給付奨学金月額（令和6年度）

第4学年以上	世帯の所得金額 に基づく区分	自宅通学	自宅外通学
	第Ⅰ区分	17,500円 (25,800円※)	34,200円
	第Ⅱ区分	11,700円 (17,200円※)	22,800円
	第Ⅲ区分	5,900円 (8,600円※)	11,400円
	第Ⅳ区分 (多子世帯に限る)	4,400円 (6,500円※)	8,600円

※生活保護（扶助の種類を問いません。）を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

9 学生保険制度

授業又は課外活動中の不測の事故に対し、医療費、災害見舞金等の給付を受ける日本スポーツ振興センター災害共済があります。これには、本校の学生は全員加入しています。

10 学 寮

自宅からの通学が困難な者のため、定員244人（うち女子56人）の学寮が校内に設置されており、申請に基づき選考の上、入寮が許可されます。

なお、入寮経費は次のとおりです。

費 目		金 額	備 考
寄宿料（1人室）		800円	月額
その他の 必要経費	寮費（光熱水費等）	7,000円	月額
	食 費	26,000円	月額（概算）
	エアコンリース代	4,000円	月額（予定）
	食 器 代	4,400円	入寮時
	寮生会費	2,000円	年額

（注）個人で使用した電気料は別途必要となります。

11 卒業後の進路

(1) 就 職

卒業生は、産業界、官公庁等の広い分野において、大学卒業者と同一ような職種に従事し、優れた技術者として高い評価を得て活躍しています。

(2) 進 学

進学を希望する者に対しては、本校を含めて高等専門学校に設置されている専攻科（本科卒業後の2年課程）への進学や大学の3年次への編入学の制度があり、本校卒業生もこれらの制度を利用して進学しています。